公益社団法人MORIUMIUS 令和7年度事業報告書

2026年3月31日

1. 概要

令和7年度は年間932名、学校や企業など平日利用が少なく、週末の家族の利用が減少した。一方で滞在することができなかった学校や貧困家庭、児童養護施設向けにオンラインを活用したプログラムをのべ3,520名が参加しました。

宮城県内の小中学校との連携は従来の宿泊ではない日帰り体験を学校・児童に対し、
プログラムの実施を行い、住民参加型の活動の充実を目指した。

さらには雄勝町内の津波被害のあった町の元中心部が石巻市によって整備され、住民が花と緑で覆う公設民営の公園にすることが23年に決定。4月から住民主体で人が長く関わり緑や花で溢れる場所にするためにモリウミアスも参画し、協議会のメンバーとして行政と計画を検練りながら町の活性化に貢献。地域のこども向けの体験農園が整備され活用している。

艇庫事業は指定管理業者として引き続き運営し、年間4,009名（艇庫2090名、体育館1919名）の町民と訪問者が利用し、海をテーマに雄勝町とのつながりを生み出している。

全国の困難な環境で生きるこども達を招待する取り組みも今年度は実施。207名を招待することができた。これは毎月オンラインプログラムとしてモリウミアスとつながり、自然との繋がりを感じる機会を経験したこども達を招待するもので、出身地から旅行をしたことがないこども達もおり、地元を離れ、全国から集まるこども達との滞在や体験から生きる力を育んでいた。
また地元出身者を雇用し、県外から移住して従業員として働く者のために空き家を借りて寮にするなど故郷に戻るきっかけや過疎化対策にも貢献している。

- 施設滞在・訪問者数：932 人（こども572名、企業や大人は360名）
- 学習支援児童数：363人（地元の小・中学と連携、述べ人数）
- 外国人訪問者数：46人
- 連携企業数：12社
- フルタイム・パートタイム雇用：9名、15名

2. 活動内容

（ア）モリウミアス事業

① こども向けプログラム（地域と県外からの小、中学生を対象）

・ 1週間こども達だけで滞在するプログラム。自然の循環とその暮らし、住民との交流をつうじサステナブルに生きる力を醸成することを目的とする。

テーマ： 循環する暮らしの体験（サステナブル）、土地と人の物語の体験（ローカル）、人の多様性（ダイバーシティ）
上記3つをテーマに森、海、沢、まちをフィールドに共同生活をするプログラム

DAY1：オリエンテーション・暮らしづくり：チームビルディングゲーム・箸づくり
DAY2：雄勝のまちと自然を体感する：沢探検・語り部・防災教育
DAY3：森から学ぶ：間伐・山のトレッキング
DAY4：海から学ぶ：漁業体験（ホタテの水揚げなど）・釣り・魚介さばき
DAY5：田畑を学ぶ：野菜の収穫・土作り・豚の世話
DAY6：雄勝を楽しむ：こどもたちのやりたいことをやりきる
DAY7：雄勝に貢献する：まちの人の手助け、モリウミアス学び場づくり
DAY8：明日へつなぐ：次の参加者へのモリウミアス・雄勝紹介・振り返り

・ 1泊2日・2泊3日プログラム 「MEET MORIUMIUS」：週末や連休に家族または貧困家庭のこどもたちが参加し、モリウミアスのプログラムや施設、スタッフとの交流を通じてファンを増やし、雄勝を故郷にしてもらうことを目的とする。

DAY1：雄勝のまちを体感する・暮らしづくり：語り部防災教育・ご飯づくり
DAY2：森と海に学ぶ：漁業体験・間伐・山のトレッキング
DAY3：明日へつなぐ：振り返り

・ また県内の公立学校が日帰りで体験活動に参加するなど教育の機会を創出した。貧困家庭のこども向けのオンラインプログラムや現地雄勝町への招待は日本財団の助成金によって実施。雄勝町の海の幸を送り、その食材の生態系や調理方法をオンラインで伝え、体験する機会を年間通じて行った。食事をする機会に恵まれない、旅行や体験の機会も少ないこどもたちに生きる力を育む機会を多く創出し

た。

② 大人向けプログラム（個人ボランティアや企業）

企業研修：大手企業の中間管理職が異業種研修をオンラインで実施。画面を通じてモリウミアスや雄勝へのつながりを強め、長く町に関わるパートナーづくりのきっかけを目指した。

ボランティアツアー：SONYといった企業のボランティアツアー、個人ボランティアツアーなども今年度はオンラインで町の現状説明や意見交換を行い、こども達の学び場づくりをより豊かに進化させ、町の未来を明るくすることを目指した。

地域属性：こども向けプログラム：県外：約 60%、宮城県内：約 40%、海外：0%

大人向けプログラム：県外：65%、宮城県内：20%、海外：15%

事業実施によって得られた成果：

訪問者は激減するも、オンライン化を進めることによりこれまで以上に多くの学びや交流の機会が育まれた。また石巻市の事業の指定管理として運営する、町の公園計画に参画するなど震災から13年が過ぎたからこそ動き出した町づくりにも参画。

（イ） 学習支援事業

総合学習の連携として雄勝小学校が毎月1日モリウミアスで自然と共生するプログラムや滞在するこども達と交流する授業を実施。また、宮城県内の小中学校4校が日帰り訪問。生きる力を育む課外授業としてたくさんの学びを得た。

4. 寄付や助成金提供企業・団体：

多くの方々の支援により活動が継続されました。10 周年に際し、クラウドファンディングを行いました。団体は日本財団、KOKUYO、カウネット、orec。